

【最新イベントレポート】 2009シーズン本格始動

2009年度トライアウトを行いました

3月15日（日）、オービックス習志野グラウンドにて2009年度の「トライアウト（入部希望選手の合同テスト）」を行いました。今年の受験者は30人。40ヤード走の計測等フィジカル面のテスト、ポジションごとの基本的なフットボールスキルのチェック、個人面談、が主な内容です。

オービックスーガーズでは、こうしたトライアウトを年に一度、3月に行う他、4月から6月の間、入部希望の選手を随時グラウンドへ招き、テストを行います。今回のトライアウトも含め、合格者は春シーズンの練習やパールボウルトーナメントでの試合出場を通じて、既存選手ともに、秋シーズンでの70名のROSTER（ロスター）登録を目指します。



▲40ヤード走の計測



▲キャッチングのスキルチェック



▲実践さながらの1オン1 (OL対DL)

3選手がアメリカでの武者修行へ出発

今春は、LB#9塚田昌克（立命館大卒）、DB#14長谷川弘記（関西大卒）、DB#16三宅剛司（立命館大卒）の3選手が、アメリカ・室内アメリカンフットボールのプロリーグ「AF2」参加するために、出発しました。

塚田選手は、ケンタッキー・ホースメン、長谷川選手はテネシーバレー・パイパーズ、三宅選手はストックトン・ライトニングに所属します。

今回挑戦する3人は、全員AF2初挑戦。高いレベルの中で揉まれることにより、テクニックの向上を目指します。また、これまでに参加した選手たちが身に付けてきた、プロ選手と関わることで「意識面の成長」も期待されます。

リーグ戦は3月28日から開始され、7月25日まで16試合を戦います。



▲LB #9 塚田昌克



▲DB #14 長谷川弘記



▲DB #16 三宅剛司

フラグフットボールイベントを開催しました

3月22日（日）、オービックス習志野グラウンドにて小学生向けのフラグフットボールイベントを開催しました。今回はNPO法人フラグフットボール・マネジメント・ジャパン (FMJ) の9チーム、柏市立酒井根東小学校、柏市立逆井小学校が参加。NPOチームは対外試合の機会が少なく、他チームとの試合を通じてもっとフラグフットボールを楽しんでもらいたいという思いからこの大会が企画され、今回で2回目の開催となりました。

試合は12チームが4ブロックに分かれてリーグ戦を行い、各リーグの上位2チームでプレーオフトーナメントという形式で行われ、酒井根東チームが見事優勝しました。参加した子供たちは約100名、保護者の方や選手を合わせると200名以上のイベントになりました。



▲優勝した酒井根東小学校チーム。関東大会などでも上位に進出する名門チームです



▲前回大会よりもさらにレベルアップ。会場がどよめくほどのスーパープレーも見られました



▲最後は全員で記念撮影

2009年度は、3万人+5万人プロジェクトに向かって発進します。



オービックスシーガルズ 社長兼GM
並河 研

先般、Jリーグが観客動員数で1億人を突破したと発表しました。Jリーグのスタンドに集まる人たちは、サッカーファン、サッカーの日本代表のファン、フランチイズ地域の中でそのチームを応援して下さる企業やそのユーザー、そのチームでプレーすることを目指すユースの世代や、そのご家族、あるいはその地域のサッカープレーヤー（たとえば千葉市のサッカー協会だけでも1万人以上の会員がいらっしゃいます）、そして厳しくも温かく、心強いサポーターの皆さんです。そういう方々を創りだし1億人が集まったということは、21世紀の日本のスポーツ界における勝利の一つとも言えるのではないのでしょうか。

昨年、私たちも「東京ドーム1万人プロジェクト」の活動を通じて、より多くのお客様に試合を観に来ていただけるよう努力することの大切さを学びました。これはまさしく「強くすること、お客様を呼ぶこと、そのためにチームを開き、よりよく知っていただけるように努力することは同じである」ということであり、その先こそJリーグのような勝利があるのだと思います。

今シーズンより、改めて「チームを強化し、競技の質を高める」とこと、「ステークホルダーと良好な関係を築き、多くの方に支えられるチームとなる」ことを、2大方針に掲げ、取り組んでまいります。その中でも今回は、多くの方に支えられるチームとなるための活動方針について報告させていただきます。

1 私たちの「ステークホルダー」とはどういう方々なのか？

一般企業の場合、ステークホルダーとは、利害関係者を指し企業活動を行う上で関わるすべての人のことを言います。

私たちオービックスシーガルズの「ステークホルダー」とは一体どういう方々なのかをしっかりと認識し、その皆様と積極的にコミュニケーション活動を行い、どのようにしたら永続的で幅広いご支援をいただけるようになるのか、ひとつずつトライ&エラーで取り組んでいきたいと思っています。

ステークホルダーとは

【一般企業の場合】

お客様【お客様満足・安全で独創的な商品とサービス】・・・→

株主【適切な利益還元・コーポレートガバナンス】・・・→ 株主

代理店【パートナーシップ・販促支援】・・・→ Xリーグ(含他チーム)、メディア、用具メーカー(含販売業者)、スタジアム、マーチャンダイジング業者、etc.

取引先【パートナーシップ】・・・→ 大学連盟、高校連盟、中学連盟、他競技団体、様々なサブライヤー、NFL、AFL、etc.

地域社会【社会貢献】・・・→ 地域社会(習志野市を始めとする千葉県内の各市町村)

社員【働きがい・快適な職場】・・・→ 選手、コーチ、各スタッフ、チアリーダー

【オービックスシーガルズの場合】

ファン、スポンサー、支援企業

株主

Xリーグ(含他チーム)、メディア、用具メーカー(含販売業者)、スタジアム、マーチャンダイジング業者、etc.

大学連盟、高校連盟、中学連盟、他競技団体、様々なサブライヤー、NFL、AFL、etc.

地域社会(習志野市を始めとする千葉県内の各市町村)

選手、コーチ、各スタッフ、チアリーダー

2 試合こそが私たちの商品。何度も足を運んでいただくために取り組むこと

昨年の気づきと反省を踏まえ、2009年度の活動の柱として以下の4点に取り組みます。

●魅力ある商品づくり(スタジアムイベント、初めて観戦する方向け施策等を含む)

私たちの「商品=試合」ととらえ、一度試合をご覧になった方が「必ず次も観に行きたい」と感じていただけるような満足度を提供すること。

●綿密な事前告知

事前告知・広報に関する「当たり前」のレベルを高め、不満や不足を感じさせないようにすること。さらには、例えばホームページに誘導されてきた方が、「試合に行ってみようかな」と思い立つような誘いづくりに取り組む。

●固定顧客化

一度興味を持ってくださった方が、その後ずっと応援しようと思っていいただけるように、必要な情報に容易にア

クセスできるようにすること。例えば、調べれば調べるほど、知れば知るほど、興味が増すようなホームページの運営。

●地域貢献

活動の拠点である千葉県、習志野市への社会貢献活動を積極的に行う。

これらの活動を、Xリーグ及び他のチームと一体となって行ってまいります。

3 2009年度の集大成として・JXBに3万人、ライスボウルに5万人のお客様に来ていただきたい

上記の活動を通じて、今年も、一人でも多くのお客様を試合へお呼びしたいと思っています。

特定の1試合に多くきていただくのももちろん嬉しいことですが、応援して下さる方が徐々に積み重ねることを目指します。そのうえで、今シーズンのチームの目

標であるJXB(Xリーグ選手権)やライスボウル(日本選手権)に出場を果たした際には、かつての大会ではお越しいただけていたような、3万人(JXB)、あるいは5万人(ライスボウル)といった観客数を上回れるよう、活動を重ねます。



メインスポンサー

システムインテグレータの **オービックス**

オフィシャルスポンサー



Ds Daiichi Seihan

★ CONVERSE

オービックスシーガルズマンスリーレポート 3月号

発行人/並河 研

編集/渡部 滋之

制作・デザイン/高木 慶太

写真/石原 秀樹、藤田 義生

発行/㈱ OFC

〒104-0061 東京都中央区銀座1-19-16 銀座昭和ビル 3F

Tel.03-3567-1313

Fax.03-3567-1312

http://www.seagulls.jp